

水質検査成績書

田 志

様

公益財団法人

県総合保健協会

平成25年12月5日 受付の試料について試験した結果を下記のとおり報告します。

| 種 別 | 池水 | 受付区分 | 持込 |
|--------------------------|---|---|-----------------|
| 採水日時 | 平成25年12月5日 15時00分 → | 平成25年10月23日に採取した水を水槽容器に移し替え、松井式環境改善装置を介し該水を活性化させた結果の検査成績書である。 | |
| 採水場所 | 市 町 (〇〇城お堀の水) | | |
| 項 目 | 結 果 | 水道法による水質基準 | 検 査 方 法 |
| 一般細菌 (個/mL) | 280 | 100 以下 | 別表第1 標準寒天培地法 |
| 大腸菌 | 検出せず | 検出されないこと | 別表第2 特定酵素基質培地法 |
| 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 (mg/L) | 0.69 | 10 以下 | 別表第13 IC法 |
| 塩化物イオン (mg/L) | 19.4 | 200 以下 | 別表第13 IC法 |
| 有機物(全有機炭素(TOC)の量) (mg/L) | 1.7 | 3 以下 | 別表第30 全有機炭素計測定法 |
| pH値 | 8.2 | 5.8以上8.6以下 | 別表第31 ガラス電極法 |
| 味 | --- | 異常でないこと | 別表第33 官能法 |
| 臭気 | 異常なし | 異常でないこと | 別表第34 官能法 |
| 色度 (度) | 2 | 5 以下 | 別表第36 透過光測定法 |
| 濁度 (度) | 0.2 | 2 以下 | 別表第41 積分球式光電光度法 |
| | 以下余白 | | |
| 判 定 | 上記の結果、一般細菌については、水道法による水質基準に適合していません。 | | |
| 検 査 員 | 理化学的検査区分責任者 | 生物学的検査区分責任者 | |
| 備 考 | 検査方法は平成15年厚生労働省告示第261号(最終改正平成24年3月)によります。 | | |

水質検査成績書

田 志 様

公益財団法人

県総合保健協会

平成26年1月8日 受付の試料について試験した結果を下記のとおり報告します。

| 種 別 | 池水 | 受付区分 | 持込 |
|--------------------------|---|---|-----------------|
| 採水日時 | 平成26年1月8日 12時00分 | 平成25年10月23日に採取した水を水槽容器に移し替え、松井式環境改善装置を介し該水を活性化させた結果の検査成績書である。 | |
| 採水場所 | (〇〇城お堀の水) | | |
| 項 目 | 結 果 | 水道法による水質基準 | 検 査 方 法 |
| 一般細菌 (個/mL) | 80 | 100 以下 | 別表第1 標準寒天培地法 |
| 大腸菌 | 検出せず | 検出されないこと | 別表第2 特定酵素基質培地法 |
| 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 (mg/L) | 0.48 | 10 以下 | 別表第13 IC法 |
| 塩化物イオン (mg/L) | 23.1 | 200 以下 | 別表第13 IC法 |
| 有機物(全有機炭素(TOC)の量) (mg/L) | 1.5 | 3 以下 | 別表第30 全有機炭素計測定法 |
| pH値 | 8.0 | 5.8以上8.6以下 | 別表第31 ガラス電極法 |
| 味 | --- | 異常でないこと | 別表第33 官能法 |
| 臭気 | 異常なし | 異常でないこと | 別表第34 官能法 |
| 色度 (度) | 2 | 5 以下 | 別表第36 透過光測定法 |
| 濁度 (度) | 0.1 | 2 以下 | 別表第41 積分球式光電光度法 |
| | 以下余白 | | |
| 判 定 | 上記の試験を実施した項目については、水道法による水質基準に適合しています。 | | |
| 検 査 員 | 理化学的検査区分責任者 | 生物学的検査区分責任者 | |
| 備 考 | 検査方法は平成15年厚生労働省告示第261号(最終改正平成24年3月)によります。 | | |

(株)松井エコエネルギー愛媛 様

松山市保健所長

当所へ提出された試料について試験した結果、次の成績を得たので通知します。

水質試験成績書

| | | | |
|--------------|---|---|----------|
| 委託者住所(所在地) | 愛媛県伊予郡松前町中川原401-1 | | |
| 委託者氏名(名称) | (株)松井エコエネルギー愛媛 | | |
| 採水年月日 | 平成26年4月20日 採水月日の訂正 (25年10月23日) *紛失資料検索確認 | | |
| 試験年月日 | 平成30年2月14日 | ▶ 平成25年10月23日に採取した水を水槽容器に移し替え、松井式環境改善装置を介し該水を活性化させた結果の検査成績書である。 | |
| 採水場所 | 委託者住所に同じ | | |
| 種類 | 井戸水 (*溶存水素検証は、上段掲示の通り。) | | |
| 水道又は水源の名称 | --- | 水道法水質基準 | |
| 試験成績 | 色度 (度) | 1未満 | 5以下 |
| | 濁度 (度) | 0.5未満 | 2以下 |
| | 味 | 異常なし | 異常でないこと |
| | 臭気 | 異常なし | 異常でないこと |
| | pH値 | 8.0 | 5.8~8.6 |
| | 亜硝酸態窒素 (mg/L) | 0.004未満 | 0.04以下 |
| | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 (mg/L) | 2.3 | 10以下 |
| | 塩化物イオン (mg/L) | 10.7 | 200以下 |
| | 有機物(全有機炭素(TOC)の量) (mg/L) | 0.4 | 3以下 |
| | 一般細菌 (CFU/mL) | 6 | 100以下 |
| | 大腸菌 (100mL中) | 検出せず | 検出されないこと |
| | 鉄及びその化合物 (mg/L) | 0.03未満 | 0.3以下 |
| | マンガン及びその化合物 (mg/L) | 0.005未満 | 0.05以下 |
| | フッ素及びその化合物 (mg/L) | 0.10 | 0.8以下 |
| | カルシウム、マグネシウム等(硬度) (mg/L) | 90 | 300以下 |
| 蒸発残留物 (mg/L) | 174 | 500以下 | |
| 判定 | 上記水質項目については水質基準に適合 | | |
| 備考 | 上記原水の残り12リットルを、ポリ容器(ネジ蓋は、半開き状態)で放置保存していたもの。 | | |

磁気曝気水の溶存水素検証

*ヨードチンキによる検証

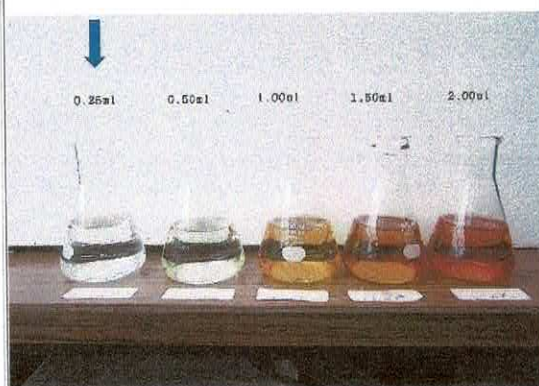
曝気磁化水100ccに対するヨードチンキの量 (左側より0.25cc、0.50cc、1.00cc、1.50cc、2.00cc)



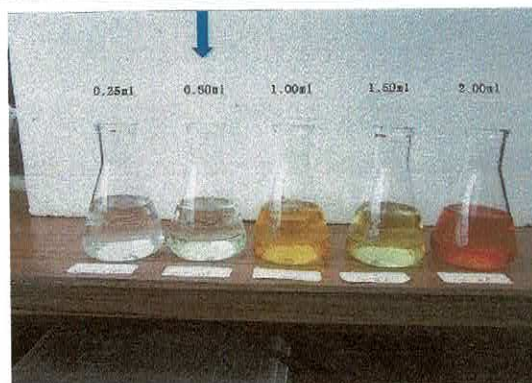
ヨードチンキ投入前



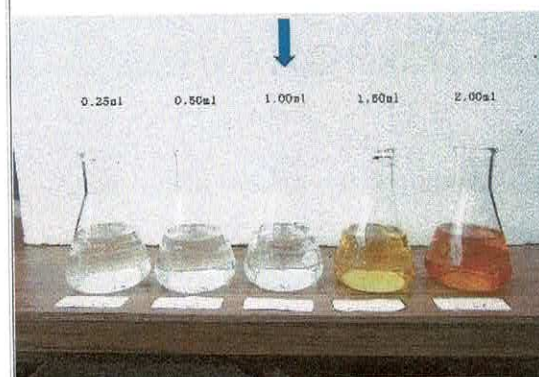
ヨードチンキ投入直後



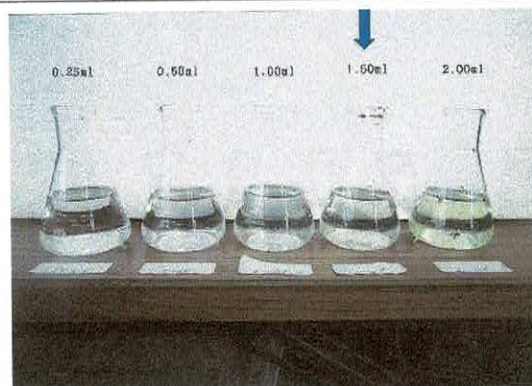
ヨードチンキ投入72時間後



ヨードチンキ投入168時間後



ヨードチンキ投入384時間後

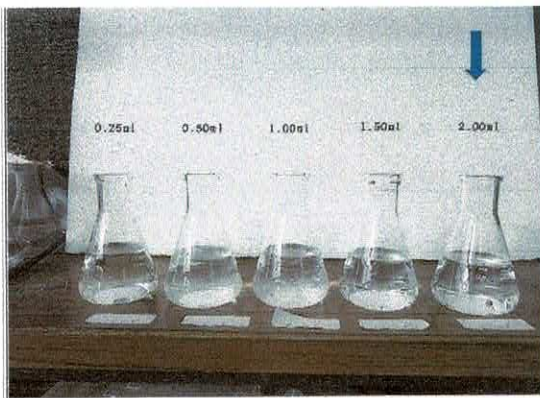


ヨードチンキ投入552時間後

「イソジンラがい薬」の実験 (※ヨウソ反応)

イソジン溶液 (茶色) に水素水を入れ透明化する実験で、イソジン内の活性酸素を水素が中和するとの表現は間違いです。
 イソジンに「活性酸素」は入っており、成分「ポビドンヨード」の酸化作用 (酸化還元電位が低い) を水素の酸化還元作用により中和するのが正しい表現です。

(* 2018がん対策活性水素 水素水 さんのホームページより抜粋記載)



ヨードチンキ投入768時間後

曝気状況



磁界・曝気生成水



曝気状況



超交番磁界発信装置



4年間放置保存していた磁気曝気水 100cc に対してヨードチンキ 0.25cc 投入したもの

磁気曝気水の溶存水素含有査証写真

以下のとおり(4枚)



ヨードチンキ投入前



ヨードチンキ投入直後



ヨードチンキ投入後24時間経過後



ヨードチンキ投入後76時間経過後

第 A252552 号
平成 26 年 1 月 15 日

水質検査成績書

前田 浩志

様

公益財団法人

愛媛県総合保健協会

〒790-0814 松山市味酒町一丁目10-5
TEL 089-987-8206 FAX 089-987-8256

平成26年1月8日 受付の試料について試験した結果を下記のとおり報告します。

| | | | |
|---|---|----------------------|-----------------|
| 種 別 | 地下水 | 受付区分 | 持込 |
| 採 水 日 時 | 平成26年1月8日 13時00分 | | |
| 採 水 場 所 | 松山市古川西二丁目7-17 *井戸水を磁気曝気した 原水 | | |
| 項 目 | 結 果 | 水道法による水質基準 | 検 査 方 法 |
| 一般細菌 (個/mL) | 2 | 100 以下 | 別表第1 標準寒天培地法 |
| 大腸菌 | 検出せず | 検出されないこと | 別表第2 特定酵素基質培地法 |
| 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 (mg/L) | 2.8 | 10 以下 | 別表第13 IC法 |
| 塩化物イオン (mg/L) | 11.8 | 200 以下 | 別表第13 IC法 |
| 有機物(全有機炭素(TOC)の量) (mg/L) | 0.3 未満 | 3 以下 | 別表第30 全有機炭素計測定法 |
| pH値 | 6.4 | 5.8以上8.6以下 | 別表第31 ガラス電極法 |
| 味 | 異常なし | 異常でないこと | 別表第33 官能法 |
| 臭気 | 異常なし | 異常でないこと | 別表第34 官能法 |
| 色度 (度) | 1 未満 | 5 以下 | 別表第36 透過光測定法 |
| 濁度 (度) | 0.1 未満 | 2 以下 | 別表第41 積分球式光電光度法 |
| | 以下余白 | | |
| 平成26年1月8日採水し、水質検査へ出した残りの12リットルを ポリ容器(ネジ蓋は、半開き状態)で放置保存していた。 | | | |
| 判 定 | 上記の試験を実施した項目については、水道法による水質基準に適合しています。 | | |
| 検 査 員 | 理化学的検査区分責任者 中村 郁恵 | 生物学的検査区分責任者 檜垣 佳三 | |
| 備 考 | 検査方法は平成15年厚生労働省告示第261号(最終改正平成24年3月)によります。 | | |